

来春からお木曳！

いよいよ来年に斎行される「お木曳行事」に因み、第六十二回（平成十八年、十九年）に行われたお木曳行事の写真を展示します。奉曳や最後の曳き込みの「エンヤ曳」、練りなどお木曳の魅力と楽しさを感じて下さい。

おかげ横丁 お伊勢さんのご遷宮展



仙夫による御神木の伐採（御仙始祭 木曽上松町）

ぜひ、会場にてご覧下さい。

とき 令和7年 12月5日(金)
～14日(日)

ところ おかげ横丁 大黒ホール
(伊勢路名産味の館 2階)

おかげ横丁総合案内
☎ 0596-23-8838

おかげ横丁 株式会社伊勢福
〒516-8558
伊勢市宇治中之切町52



今年から始まつた第六十三回 神宮式年遷宮。
今から千三百年前、天武天皇によって発案され、第一回
は持統天皇四年（六九〇）に行われました。それ以来、
一時の中斷はありましたが、「二十年に一度、繰り返し
行われてきました。
なぜ、「二十年に一度か？」諸説はありますが、神宮の
神明造りの建築は古代の穀物倉がそのルーツとされ、
定期的な建て替えにより、神様が宿る建物の尊厳を
維持する期限が約二十年であった、と考えられます。
しかし、遷宮は単に建物を建て替えるだけではなく、
古代からの記憶やこころをつないできました。
この度の「ご遷宮展」は、今年斎行された山口祭、御
仙始祭等の諸祭の中でも、木曽で行われた御神木を
伐採する御仙始祭、御神木祭、御樋代木奉曳等を中
心に展示を行います。



「伊勢講曆」遷宮の書籍

神宮と伊勢の魅力がつまつた「伊勢講曆」。
かつて、江戸時代に御師と言われる伊勢の
神職兼プロデューサーが全国の檀家に配つた
「伊勢講曆」をモデルにした現代の「曆」です。
これまで第三十六作が発行されています。



お木曳行事（第62回）

12月6日(土)

①木曽の祝い唄

木曽郡上松町で獅子狂言
や地歌舞伎などの伝統芸能
を伝承する「上若連」。今回
は数ある獅子狂言の芸題の
中から「八百屋お七」を披露
します。



12月6日(土)・7日(日)

②木曽ヒノキの箸づくり体験



木曽といえど、木曽ヒノキで造る木工品。
今日は木曽ヒノキの箸づくりを体験。
鉋で作っていただきます。

長野県の郷土料理で、
山仕事の安全を祈る祭
りの際に木こりや
狩人たちが作って食べ
た携帯食。
信州味噌の香ばしい味
と匂いが食欲を誘います。



12月5日(金)～14日(日)

③五平餅を味わう

数量限定

長野県の郷土料理で、
山仕事の安全を祈る祭
りの際に木こりや
狩人たちが作って食べ
た携帯食。
信州味噌の香ばしい味
と匂いが食欲を誘います。



木曽の物産展も
五平餅、信州の食の恵み、木曽桧の木工製
品などを即売します。ぜひお立ち寄り下さい。

【場所】堀沿い屋台



おかげ横丁の道中茶屋
「団五郎茶屋」では、
数量限定で信州そばを
お楽しみます。

おかげ横丁の道中茶屋
「団五郎茶屋」では、
数量限定で信州そばを
お楽しみます。

12月5日(金)～14日(日)

④信州そばを味わう

数量限定

おかげ横丁の道中茶屋
「団五郎茶屋」では、
数量限定で信州そばを
お楽しみます。



木曽の祝い唄が太鼓櫓に響きます。
信州そば、五平餅、舌で味わう木曽の歴史と風土。
体験も楽しみです。

